

1 公益目的事業の実施内容

1-1 支援プロジェクト

1-1(1)教育支援

・学校建設支援

- ◆連携団体：シャンティ国際ボランティア会
- ◆対象地域：カンボジア・ポーサット州
- ◆支援額：100 万円



カンボジア・ポーサット州のオーロムチェック小学校の新校舎建設のため 2021 年度は 100 万円の支援を行った（2020 年は 200 万円、総額 300 万円）。校舎は 2020 年 8 月に完成し、現在は校長先生とボランティア教員の 2 名が勤務している。新型コロナウイルス感染拡大の影響で 2021 年 12 月末まで休校が続いていたが、2022 年 1 月より新学期がスタートしている。コロナのためにこの地域での仕事を続けることが難しくなり、他地域へ引っ越しをする家庭もあったため、児童数は減少した。

・奨学金支援

- ◆連携団体：KKEV（教育支援を行う現地 NGO）
 - ◆対象地域：カンボジア・センソック地域（プノンペン市郊外）
 - ◆支援額：約 40 万円(2022 年 2 月送金)
- （中学・高校生・大学生・職業訓練校生：14 名分）

センソック地域に暮らす成績優秀だが経済的に学校に通い続けることが困難な状況にある生徒の学費や教科書、制服、交通費等を支援。2021 年度は 14 名を支援（7 名はスカラーペアレント制度、2 名は大学生奨学金支援制度、残り 5 名はセカンドハンド・ユースが支援）した。



1-1(2)自立支援

・女性の自立支援

- ◆連携団体：ラチャナハンディクラフトバタンバン（現地 NGO）
- ◆対象地域：カンボジア・バタンバン州

現地の女性たちが製作した布製品を適正な価格で購入し日本で販売することにより、生産者の生活を支え、経済的自立への支援、フェアトレード商品の普及を図っている。商品の販売は、チャリティショップ内

だけでなく、イベントへの出品を通して広くフェアトレード商品を知ってもらう場を提供している。

また、県内外問わず、お店を経営されている方々等のご協力を得て、店内に商品を置かせて頂くことで、より多くの方々に商品を手にとってもらえる機会となっている。更にカンボジア商品の認知度を上げるため、ネット販売も行っている。

《委託販売先》 順不同・敬称略

和カフェぐう（香川郡直島町）、カフェレスト オリーブ（三豊市）、セカンドハンド北海道



・フォスターペアレント制度

◆連携団体：ホームランド（現地 NGO）

◆対象地域：バタンバン州

◆支援額：約 50 万円(2021 年 6 月送金)、約 50 万円(2022 年 2 月送金)

NGO ホームランドは、地域の貧困家庭の子ども達を対象に、食事を始めとする生活費、教育費、子ども達の親の支援、地域住民への HIV 教育などのプロジェクトを実施し支援している。日本の支援者が貧困家庭の子ども達の「里親」となり、手紙のやり取りをして繋がる「フォスターペアレント制度」を通じて N G O ホームランドへの支援を行った。2021 年度は、24 名の里親が 25 名の子ども達を支援した。



・貧困家庭への自立支援

◆連携団体：ホームランド（現地 NGO）、KKEV（現地 NGO）

◆対象地域：カンボジア

◆支援額：約 30 万円(2021 年 6 月、2022 年 2 月ホームランドへ送金)、約 3 万円(2022 年 2 月 KKEV へ送金)



カンボジアの貧困家庭の子どもやストリートチルドレン、DV を受けている子ども等、支援が必要な子どもたちを保護し、親や親戚もしくは現地の里親のもとで生活できるようにサポートしている 2 つの現地 NGO に対し、支援を行った。資金は、子ども達の就学支援のために、必要な経費に充てられた。KKEV への支援では、小学生への就学支援を行う「スタディサポートペアレント制度」で 3 名の支援者が 3 名を支援している。



年少クラス



年長クラス

◆連携団体:OAU(現地 NGO:Orphan Affairs Unit)

◆対象地域:マラウイ

◆支援額:40 万円

マラウイ共和国のマランジェ地区で活動する OAU(現地 NGO)を通し、貧困家庭の子ども達への支援を行っている。9 月に OAU 関係者とのオンライン会議が開催された。

セカンドハンドからの支援金は、幼稚園の無償化や制服や学習用品の無料提供を実現するために使われた他、子ども達への食事の提供、学校施設・農地の整備などにも充てられた。

・保健衛生指導者育成プロジェクト

◆連携団体：ホームランド（現地 NGO）

◆対象地域：カンボジア・バタンバン州

ホームランドのケースワーカーが周辺の極貧家庭を定期的に訪問し、子どもの就学を支援するとともに、保健衛生状況の観察、必要な助言を行った。

1-1(3) 医療支援

2021 年度は実施していない。

1-1(4)緊急支援

・新型コロナウイルス感染症緊急支援

◆連携団体:香川県子どもの未来応援ネットワーク

◆支援額:20 万円

子ども食堂等での食料購入のための支援金として、香川県内の 8 団体に 2 万 5 千円ずつを支援。米や野菜、牛乳等の食材の購入に使われた。また、ニュースレター等で、マスク等の物品提供を募り、希望する団体に配布した。

【支援先】順不同

すまいる😊はうす、みんなの料理教室木蓮、どきどき食堂つ☆な☆ご、えびすハッピー子ども食堂応援団、

一般社団法人 もも、小豆島 子ども・若者支援機構、アール・ツウふれあい食堂、認定 NPO 法人さぬきっずコムシアター

◆連携団体：ホームランド（現地 NGO）、KKEV（現地 NGO）

◆対象地域：カンボジア

◆支援額：約 50 万円

ホームランド、KKEV が支援する子ども達への食糧支援として、約 50 万円を支援。

ホームランドでは、米、砂糖、塩、魚醤、醤油、マスク、洗濯石鹼を購入し、支援している家庭に配布した。（2021 年 4 月、7 月、10 月、2022 年 1 月の 4 回）

KKEV では、感染対策のためのマスク・石鹼・アルコール消毒液等の購入に充てられた。施設内のスタッフや子どもたち 20 人のコロナ感染が確認されたが、全員快復している。



1-2. 支援先視察・交流事業

1-2(1) 事業調整者による現地視察

COVID-19 のため実施していない。支援先とは、インターネットを通して定期的に連絡を取り合い、状況確認を行った。

1-2(2) 支援者と支援先関係者との交流

COVID-19 により現地渡航はできなかったため、手紙で交流を行った。フォスターペアレント、スカラーペアレント、スタディサポートペアレントより、里子等への手紙を募集し、メールで現地に送った。

1-3. 人材育成事業

1-3(1) セカンドハンド・ユースのサポート

香川県内で、社会を良くするために何かしたいと活動する学生たちに、活動の場の提供や活動のサポート等を行っている。

※セカンドハンド・ユースの活動内容は、「2.関連する団体」を参照



1-3(2) ボランティア体験・インターン受入

本年は新型コロナウイルスのため、少人数でのボランティア体験の受入れを行った。

1-4 視察・調査受入事業

ボーダレスアカデミーの学生より視察の依頼があり、松縄店で受け入れを行った。

1-5 講演・講座事業

1-5(1)香川大学国際協力論

COVID-19 のため実施していない。

1-5(2)国際協力論合宿

COVID-19 のため実施していない。

1-5(3)講演会開催

2021 年 7 月 3 日、2020 年度の活動を報告する講演会を開催した。(会場：高松市生涯学習センター、参加者：14 名)

1-5(4)講師派遣

当年度は計 12 回の講師派遣を行った（受託事業・JICA 国際協力出前講座、オンライン実施含む）。
《2021 年度の講師派遣先》順不同・敬称略

高松大学、香川県立高松商業高校、高松短期大学、香川県立高松商業高校、サスケアカデミー高松、特定非営利活動法人まんまるサポート、宇和島市立吉田中学校(オンライン)、松山市立味生第二小学校(オンライン)、愛媛県立長浜高等学校、高知県立高知東高校看護科、香川大学附属坂出中学校(オンライン)、ローカル SDGs 四国の創り手人材育成プログラム事業

1-6. 広報事業

1-6 (1) キャンペーン

アイパル香川にて、パネル展示を行った。また、SNS 等を通じ、当団体の活動をはじめ、国際協力やボランティアの普及・啓発のため情報提供及び情報発信を行った。また、「みとよ S D G s 推進パートナー」を通じ、SDGs に関心のある企業等に対し、協働の呼びかけを行った。

1-6 (2) イベント開催

広くセカンドハンドについて知ってもらうため、主催バザーやイベント出店を行った。収益は、合計 630,915 円。

《2021 年度主催イベント》売上合計：¥563,030

4 月チャリティバザー(春物) 売上：¥51,600

6 月チャリティバザー(布・手芸用品) 売上：¥49,220

7 月チャリティバザー(夏物衣類・食器) 売上：¥29,960

8 月チャリティバザー(本・食器・かばん) 売上：¥29,450

9 月チャリティバザー(着物・和装小物) 売上：¥62,400

10 月チャリティバザー(食器、衣類、靴、雑貨・日用品、子どもくつ・雑貨) 売上：¥57,070

11 月チャリティバザー(衣類、かばん、くつ、アクセサリ、食器) 売上：¥53,530

12月チャリティバザー(布・食器) 売上：¥96,450
 1月チャリティバザー(衣類、かばん、くつ、食器) 売上：¥49,780
 2月チャリティバザー(布、食器) 売上：¥83,570

《2021 年度出店イベント》 売上合計：67,885 円
 三宅産業展示会 売上：¥13,700 (4月24日-25日)
 フェアトレードまつり 売上：¥14,500 (5月23日)
 三宅産業展示会 売上：¥34,285 (11月5日-7日)
 みんなでみんなの輪い和いかい 売上：¥5,400 (11月27日)



1-6 (3) セカンドハンド通信発行

セカンドハンド通信が 100 号を迎えたことから、デザインを一新し、クメール語で「手紙」を意味する「Sambot(サンボット)」としてリニューアルした。リニューアルに伴い、編集を外注から事務局自作に変更し、作成にかかる経費を大幅に削減している。

■2021 年 4 月発行 Sambot Vol.104

- *セカンドハンド片原町店レイアウト変更
- *オーロムチェック小学校新校舎完成
- *カンボジア新型コロナウイルス(COVID-19)感染状況
- *奨学金支援 スカラーペアレント募集中
- *フェアトレード 販売で国際協力 他

■2021 年 7 月発行 Sambot Vol.105

- *フェアトレード商品新商品入荷
- *カンボジア新型コロナウイルス(COVID-19)感染状況
- *子どもの自立支援 KKEV プノンペン センソック地域
- *子どもの自立支援 ホームランド バッタンバン州 他

■2021 年 10 月発行 Sambot Vol.106

- *子どもの自立支援 ホームランド(カンボジア・バッタンバン州)
- *子どもの自立支援 OAU(マラウイ・マルンジェ地区)
- *ボランティア紹介 他

■2022 年 1 月発行 Sambot Vol.107

- *支援者と支援先関係者との交流
- *女性の自立支援・フェアトレード事業

*新型コロナウイルス(COVID-19)緊急支援 他

1-6(4)ホームページ

ホームページを通して、当団体の活動や支援先の状況等の情報を発信している。

1-7 チャリティショップ定着・3R促進事業

2020 年度以上に COVID-19 の影響を大きく受けた。特に感染拡大によりまん延防止措置が取られた夏から秋にかけて片原町店の売上が大きく減少した。

・高松店

売り上げは低迷しているが、幸いなことに提供品の落ち込みは見られなかった。倉庫、事務作業ボランティアが増え、定着している。

・片原町店

昨年度同様 COVID-19 の影響により、観光客は少ないが常連のお客様には絶えず商品を購入していただいた。

売上減少への対策として商品の数を増やし、商品の回転率を上げ、商品の陳列を工夫するなど試行錯誤を行った。セールなどの開催も通して売上向上を図った。

バックヤードに作業スペースを設けることにより、ボランティアに参加したいが高松店の定休日である土日のみボランティアが可能な方にもご協力いただけるようになった。

・松縄店

今年度はお店の運営を支えるボランティア希望者が増え、定着している。毎月フェアイベントを開催し、幅広い方々へのアプローチを試みた。イベント目当てに新規来店する方もいた。

<3 店舗売上の年度推移>

売上推移	高松店	片原町店	松縄店	3店舗合計
2016年度	3,389,720	8,608,330	-	11,998,050
2017年度	2,737,560	8,486,570	690,613	11,914,743
2018年度	2,701,095	8,138,980	1,240,600	12,080,675
2019年度	2,210,140	8,800,275	1,224,090	12,234,505
2020年度	1,808,765	7,423,944	1,518,575	10,751,284
2021年度	1,938,760	6,527,975	1,757,340	10,224,075

1-8 チャリティイベント開催事業

COVID-19 のため本年は実施していない。

2.法人の管理運営に関わる事項

■ ボランティア等

コロナ禍のため、意見交換会等は実施できなかったが、お店の運営だけでなく様々な場面でボランティアのご協力をいただいている。

・2021 年度ボランティア延べ人数 & 提供者数

	ボランティア数					合計（人）	提供者数			合計（人）
	高松店 2階含む	片原町店	松縄店 2階含む	運搬	事務		高松店	松縄店	郵送	
2021年度合計	570	702	478	120	90	1960	1557	827	258	2642
2020年度合計	586	778	406	151	45	1966	1755	865	330	2950
2019年度合計	650	968	244	153	23	2038	1563	617	309	2489

3.関連する団体の事業内容

■ セカンドハンド・ユース

2021 年度は、街頭募金活動で 67,732 円を集め、貧困のため学校に通えない学生 5 名の奨学金支援を行った。

■ セカンドハンド北海道

イベント出店の収益金寄付などを通じてサポート

■ セカンドハンド関東

イベント出店の収益金寄付などを通じてサポート

■ セカンドハンド大阪

事務局への経理面でのアドバイス、決算書や申告書の作成などを行う

■ 日本チャリティショップネットワーク(JCSN)

全国のチャリティショップ運営団体で構成された、国内でのさらなる定着を目指したネットワーク団体。